

政治経済学部

ゼミナール発表会

プログラム



2023年度ゼミナール発表会

日時：10月22日(日)13:00～ 場所：駿河台キャンパス リバティタワー 14～16階

背景色： 政治学関係ゼミナール 国際文化関係ゼミナール 経済学関係ゼミナール

	教室番号	12:30～	①13:00～13:40	②13:45～14:25	③14:30～15:10	④15:15～15:55
14階	1144	開 会 式 会 場 1143	荒木 淳子 〔産業心理学〕	加藤 彰彦 〔比較社会学〕	重田 園江 〔現代思想〕	伊藤 剛 〔国際政治学〕
	1145		鍾 家新 〔社会学〕	水戸部 由枝 〔西洋政治史〕	小西 徳應 〔日本政治史〕	堀金 由美 〔比較政治論〕
	1146		碓 陽子 〔文化人類学〕	西村 弥 〔行政学〕	牛山 久仁彦 〔地方自治〕	竹下 俊郎 〔メディアコミュニケーション論〕
15階	1153		後藤 光将 〔スポーツ文化研究〕	前田 更子 〔ヨーロッパ文化研究〕	井田 正道 〔計量政治学〕	石川 雅信 〔社会学〕
	1154		大森 正之 〔環境経済学〕	高橋 信勝 〔経済学史〕	高峰 修 〔スポーツ文化研究〕	佐久間 寛 〔連環地域文化研究〕
	1155		加藤 久和 〔社会保障論・公共経済学〕	廣松 悟 〔経済地理学・地域開発論〕	森下 正 〔中小企業論〕	八木 尚志 〔理論経済学〕
	1156		奥山 雅之 〔地域産業論〕	武田 巧 〔応用マクロ・ミクロ経済学〕	齋藤 雅己 〔経済政策〕	末永 啓一郎 〔開発経済学・経済発展論〕
16階	1163		平口 良司 〔経済成長論〕	倉地 真太郎 〔財政学〕	小早川 周司 〔金融論〕	勝 悦子 〔国際金融論〕
	1164		赤津 正彦 〔経済史〕	浅井 澄子 〔産業組織論〕	大高 研道 〔協同組合学〕	
	1165		奥山 誠 〔経済思想〕	小野島 真 〔財政政策〕	下斗米 秀之 〔アメリカ経済史〕	
	1166		藤永 修一 〔国際経済政策〕	飯田 泰之 〔現代日本経済論〕	原 ひろみ 〔労働経済学〕	

★料金無料、閲覧自由です。

★事前予約の必要はございませんので、お気軽にお越しください。

総合案内 リバティタワー4F 政治経済学部事務室 tel 03-3296-4172

【発表タイトル】

1. 「ヒューマンサービス業におけるモチベーションとは？」
2. 「多様性のある組織のマネジメント」

【発表内容】

それぞれのテーマから仮説を立て、実際にインタビューやアンケートを取りました。その調査より分析した結果から、私たちが考えた提案について発表していきます。

【テーマ設定理由】

1. 企業の方との交流の中で、ヒューマンサービス業の世界で働くにあたってのモチベーションがどこから生じるのか疑問に感じたため。
2. 多様性のある組織の最適なマネジメント方法について学びを深めるため。

【発表への意気込み】

インタビューやアンケートなど実際に社会で働いている方のリアルな声が反映されています。企業がより良くなる提案だけでなく、聞いてくださる皆さんにも響くような発表にしたいです！

【発表の見どころ】

今回は2つの企業の方の協力のもと、調査・分析を行いました。それぞれの違った視点での発表になるため、各企業の特徴故に抱えている問題とそれに対する私たちなりの提案をぜひ比較しながらお聞きください！

【フリースペース】

○指導教員及びゼミ生の紹介

・荒木先生

明治大学政治経済学部の専任准教授。

学習研究、産業心理学の視点から主体的なキャリア形成を支える学習、組織、社会のあり方について研究しています。

・ゼミ生

男子6人、女子4人の合計10人で活動しています。アルバイト、サークル活動、就活やインターンシップとも両立してゼミ活動に励んでいます。まだまだ新しいゼミのため、入ってきてくれる5期生の皆さんと一緒に楽しく荒木ゼミを作り上げていきたいです！

【発表タイトル】

まちづくり×ひとづくり——地域の持続可能性を高める

【発表内容】

昨年夏に行ったFWの事例報告、加えて今年卒業論文執筆にあたり、各自行ったFWについても触れる。まちづくりのハード面・ソフト面・人材教育の観点から、ローカル地域の持続可能性を高める手法及びテーマに対する、15期の結論を発表する。

【テーマ設定理由】

私達のゼミの研究テーマである比較社会学において、今後更に加速する人口減少社会へ向けて、ローカル地域の持続可能性を高めるようなエリアマネジメントを、実際の事例を踏まえて研究したいと考えたから。

【発表への意気込み】

加藤ゼミは昨年度ゼミナール試験を実施していない為、現ゼミ生である15期は全員4年生です。

発表内容の大筋は昨年東北地方で行ったFWの調査報告ですが、今年各自が卒業論文執筆にあたり行ったFWの内容も新たに盛り込み、昨年よりもブラッシュアップされた発表が出来ると考えております。

各調査地で得た知見をゼミ生で共有し、テーマに対する解像度を高めてきました。皆様にその成果を見て頂ければ幸いです。

【発表の見どころ】

昨年夏に行ったFWの事例報告がメインとなっています。全体のテーマに対し、異なる複数観点からアプローチを行った為、一貫性がありながらも、多角的な視点も抑えた発表に仕上がっています！

また、卒業論文執筆にあたり行ったFWについても触れる為、加藤ゼミで4年次にどのような研究が出来るのかがより具体的にイメージできると思います！

【フリースペース】

フォローよろしくお願いいたします♪ ゼミ合宿も年に二回あります!!

【発表タイトル】

『若者たちはどう生きるか～ヤングケアラーを考える～』

【発表内容】

ヤングケアラーの実例を紹介しつつ、子どもの発達にもたらす影響について詳しく説明します。また、海外諸国と比較した日本のヤングケアラー支援をふまえながら、今後の社会に向けて日本が取り組むべき課題を考えていきます。

【テーマ設定理由】

聞いたことはあるけれど実態はよく知らない…
そんな声が多かったのが「ヤングケアラー」。
少子高齢化が加速する現代、支援が必要な若者が増えています。
同世代である私たちなりの視点で、その実態と課題を明らかにします。

【発表への意気込み】

プロの研究者である重田先生から細やかなアドバイスを受けつつ、
前期から各メンバーが時間をかけて調査・推敲を重ねてきました。

【発表の見どころ】

ヤングケアラーについて、事例やデータをもとにまとめなおしました。
色鮮やかなスライドで丁寧にわかりやすく説明します！

【フリースペース】



【発表タイトル】

南シナ海におけるアメリカと中国のパワーバランス

【発表内容】

国際政治学の理論に基づき、南シナ海におけるアメリカと中国のパワーバランスを分析する。

【テーマ設定理由】

今年の8月28日に、ASEAN首脳会議を目前にして、中国が新たな「十段線地図」を公表しました。南シナ海に対する領有権を改めて主張すると共に、台湾が中国の一部だということを明確に示しました。それに対し、ベトナムをはじめ東南アジア諸国は反発し、中国との対立が深まりました。そんな中、アメリカのバイデン大統領が9月上旬にベトナム・ハノイに訪れ、両国の更なる協力が約束されました。アメリカの同盟国である日本とベトナムとの間も、9月21日に国交正常化50周年を迎え、様々な領域における関係強化が期待されます。以上のように、南シナ海が米中対立の最前線だと言っても過言ではありません。今回の発表会では、南シナ海という視点を通じて、皆さまに国際政治学の基礎的理論や米中関係について考えていただきたく、このようなテーマを設定させていただきました。

【発表への意気込み】

22期の歴史を誇るGOゼミを、皆さんに『広く』『深く』知っていただくために、精一杯発表をしたいと思っています！！国際政治に興味がある方も、興味がない方も、是非我々の発表をご覧ください。

【発表の見どころ】

授業で学んだことだけでなく、ゼミ全体で参加した十大学合同セミナーや、9月に行ったベトナムでのゼミ合宿など、幅広い課外活動で得た知識や技術を元に今回のプレゼンを行います！GOゼミの魅力がたくさん詰まった発表、最後までお付き合いください。

【フリースペース】

GOゼミは、国際政治学をテーマに活動する伊藤剛先生のゼミナールです。十人十色のゼミ生がお互いに刺激を受けながら、今までの枠にとらわれることなく、新しいことにもどんどん挑戦しています。ぜひ発表でGOゼミを知っていただければと思います！



各種 SNS アカウ
ントにてゼミ情報
を更新しています！

X(Twitter):
@go_meiji_22nd

Instagram:
@go_meiji

【発表タイトル】

「聞き取り調査から見る町内会・自治会の実態と課題」

【発表内容】

古くから日本に根付き変動を続ける「町内会」という組織の存在意義について見直す。

【テーマ設定理由】

「町内会」という組織は、行政の末端組織として古くから地域に根付いてきた。そこで、日本社会に理解する手段として「町内会」に着目した。

【発表への意気込み】

多くの人の当たり前として気に留められていない、「町内会」についてみなさんが考えるきっかけになればいいと考えている。

【発表の見どころ】

町内会の実態を把握する上で現地でのインタビューを実施した。本や論文に書いてないようなリアルな声を聞くことができ、町内会に対する印象が変わる。

【フリースペース】

1-1 はじめに

日本各地に古くから根付く町内会と呼ばれる組織は様々な機能を持ち、その役割を変えながら現代まで存在し続けている。任意の集まりとして、法的な根拠もないまま行政の末端組織としての役割を担ってきたが、近年その存在というのは脅かされつつある。都市部では機能の形骸化や地域コミュニティの重要度低下に伴い、加入率が年々減少傾向にある。実際、総務省が2021年に発表した「自治会・町内会の活動の持続可能性について」によると、人口50万人以上の都市における2010年の加入率は64.4%であるのに対し、2020年の加入率は57.9%という結果出ている。その他にも朝日新聞によると、東京49区市の地縁団体の数は、現在の定義で集計を始めた2016年は8931だったが、22年には8787と144減少したという結果が出ている。このように都市部を中心に加入率、町内会数ともに現状傾向にあり、その存在意義が軽薄になってきている。そうした中で本稿では、実際の現地の人々の声に着目し、軽薄化している町内会の存在意義を見直していく。

【発表タイトル】

戦時性暴力の日独比較：男性の性被害を中心に

【発表内容】

第二次世界大戦時、ナチス政権下における男性の性被害に関する文献や史資料から、同時期の日本における男性の性被害の可能性について推察する。

【テーマ設定理由】

ジャニーズ問題など男性の性被害に焦点が当たりつつある現在、第二次世界大戦時の日本での生じたはずの男性の性被害に関する史資料がほぼ残されていないことに疑問を感じた。そこで、ナチス政権下での男性の性被害の実態を知ること、当時の日本でも起こりえた男性の性被害の実情、戦時下でこの性被害が生じるメカニズムを明らかにするため設定した。

【発表への意気込み】

政治経済学部男女比は7：3に対して、水戸部ゼミでは5：9と逆転している。ここから男性が少数派になる状況に興味を持ったため、聞いてくださる方に少数派としての男性についての理解関心を持ってもらえるように努める。

【発表の見どころ】

ドイツ近現代史を専門とする水戸部先生の指導の下、日本だけでなく、比較対象国であるドイツについてもしっかりと調べ、ドイツから日本を逆照射している点。

【フリースペース】

普段の雰囲気はゆったりとしていて、やるときはやる！そんなゼミです！

水戸部ゼミの特徴は、自由度が高いところです。卒業論文のテーマは幅広く、公務員予備校との両立や、留学への挑戦も可能です！ゼミ生には、体育会、音楽系サークル、体同連などに打ち込んでいる人が多いです。



【発表タイトル】

「日本から原子力発電を撤廃するべきか否か」

【発表内容】

日本には数多くの原子力発電所が存在しますが、2011年の東日本大震災によって引き起こされた大規模な事故をきっかけにして、原子力発電の利用を継続するべきか否かについて、現在に至るまで広く議論がなされています。本発表では、さまざまな観点から原子力発電の廃止の是非を問います。

【テーマ設定理由】

2023年春学期小西徳應ゼミナールにおけるディベート大会の議題であり、29期生(小西徳應ゼミ3年)一同で学びを深めたため、このテーマに設定しました。

【発表への意気込み】

小西徳應ゼミナールでは、3週間のディベート勉強期間を経て、本テーマについて学び、理解を深めました。その成果について分かりやすくお伝えします。

【発表の見どころ】

本発表では、原子力発電の廃止について肯定と否定の両方の立場から論じます。この議論について理解を深め、皆さんがこの問題に対して意見と関心を持っていただく契機になれば幸いです。

【フリースペース】

2023年度春学期のディベート大会本番の様子を掲載します！



【発表タイトル】

「中国都市内経済格差」

【発表内容】

戸籍制度に起因する中国都市内格差について

【テーマ設定理由】

近年目覚ましい経済発展により東アジアで圧倒的な存在感を示す中国だが、その裏に存在する深刻な国内格差について理解を深めたいと考えたから。

【発表への意気込み】

中国に残る戸籍制度による都市内格差の現状と解決に必要なことを多くの人に知ってほしい！

第二外国語中国語選択(だった)のそこのあなた！！中国社会についても知ってみませんか！

【発表の見どころ】

親ガチャならぬ戸籍ガチャが存在する中国。日本には馴染みの無い戸籍制度が及ぼした影響に驚くでしょう。

【フリースペース】

堀金先生について

東アジアの開発と政治を研究テーマにされており、JICAでも活躍されていらっしゃいました。豊富な知識で丁寧な指導をさせていただきます！

ゼミの雰囲気は？

毎学期交換留学生の受け入れをしている国際色豊かなゼミです！22期の学生の過半数が留学経験者でもあり、様々な国の価値観も感じられるゼミです！

今年度は堀金先生の研究の為に募集はしません…

【発表タイトル】

奢りについての文化人類学的一考察

【発表内容】

本発表では、奢り、特に、男女間のお金や物のやり取りの実践を明らかにすることを目的としています。異なる男女の振る舞い方の「当たり前」を見つけ出し、私たちが持っている、男とはこうあるべき、女とはこうあるべきというジェンダー観の違い、さらにはその背後にある人間観を探りたいと考えています。

【テーマ設定理由】

大学生になって「奢り」に触れ合う機会が増えた人が多いのではないのでしょうか。「どうして彼女が誕生日というだけで全部奢るのが当たり前になっているの？」というあるゼミ生の奢りに対する不満の声がきっかけとなりました。この身近なテーマを選ぶことで、文化人類学的な調査であるフィールドワークを通して、男女間のお金や物のやり取りの実践や認識を明らかにすることができると思いました。

【発表への意気込み】

碓ゼミでは普段、文化人類学の観点からジェンダー／セクシュアリティやケアについて日々研究しています。今回の発表のためだけでなく、毎回のゼミでも自分たちに身近で興味が湧くようなテーマについての本や論文を読んでいます。

ゼミ生はおおらかな人が多く、アットホームな雰囲気です。今年度の入室募集は行いませんが、募集再開時にも興味を持って入室してもらえる人がいるように等身大の雰囲気を伝える！また、実際に聞いてくれている人がジェンダーについて考えるきっかけになるような発表になるべく、全身全霊でゼミ生一同頑張ります(^) (ただいま作成中です。絶対に完成しますように！)

【発表の見どころ】

発表では、これまで行った奢りについての聞き取り調査の結果を紹介します。大学生からおじいちゃん・おばあちゃんまで幅広い世代に渡って行ったため、奢りに対する価値観の違いが分かって、とても興味深い結果となりました。奢りをめぐる現代の男女の振る舞いや世代による奢り実践の違いを通して、私たちが普段「当たり前」に考えていることが実は当たり前でないということが分かると思います。自分だけでは思いつきもしない考えに触れて、「奢り」という身近な観点からじっくりと考えるきっかけになれば嬉しいです。是非この機会に様々な考え方に触れて、新しい発見をしてみてください！

【発表タイトル】

西村ゼミが考える自治体の空き家問題について

【発表内容】

日本全体で深刻化している空き家問題。川島町に最適な利活用形態の方針を、現地調査の結果、考察などから紹介します！

【テーマ設定理由】

埼玉県中央に位置する川島町との共同研究も 4 年目に突入しました。今年は町長自ら「空き家対策推進室」を新設するほどの肝入り事業である「空き家の利活用」について、西村ゼミの協力を求められたことがきっかけです。

【発表への意気込み】

2 月の春合宿から 8 月の夏合宿までの半年間、11 期生一丸となり、現地調査や事例研究、そして空き家に関する知識を深めてきました。西村ゼミによる実践的な施策提言の糸口が掴める発表内容になっています。ぜひ、足をお運びください！

【発表の見どころ】

これまでのゼミ活動と併せて、実際に現地に赴いてわかった空き家の特徴や課題などを写真を交えて紹介します。空き家に関する知識が全くない方でも分かりやすい発表になっています！

【フリースペース】



【発表タイトル】

首都圏に暮らす人が考えたい災害への備え

【発表内容】

スライドを用いて、東日本大震災からの復興という面で複数の自治体を比較した上で、今後首都圏で起こる震災に対してどのような対応が必要なのかを発表していきます。

【テーマ設定理由】

ゼミ合宿では東日本大震災での被災地に行き、現地では当時の建物などを見るなど貴重な体験ができました。この経験を活かしたいと考えたためこのテーマにしました。

【発表への意気込み】

実際に現地を視察したことにより、震災からの復興のためにできることをゼミ生全員が納得するまで議論することができました。

【発表の見どころ】

震災の過酷さ、これから起こると予想されている南海トラフ地震や首都直下地震に対してどのように対応すればよいかをお伝えできればと思っています。

【フリースペース】

メリハリを持って活動しています。ゼミ生の中には他県出身の学生もいるため、自分の住んでいる地域のためにできることを熱心に議論しています！民間企業への就職を考えている人もいるため、様々な角度から質の高い議論ができました。



亙理町の職員の方のお話を伺った時の写真です

竹下俊郎ゼミ 研究テーマ メディアコミュニケーション論

【発表タイトル】

マスメディアとしてのテレビは終わるのか？

【発表内容】

テレビにマスメディアとしての将来性はあるのか、テレビは今後どのようなビジネスを構築していくべきなのかを、以下の3点の視点から考えます。

1. テレビコンテンツの変容

昨今、「テレビは面白くなくなった」とよく言われますが、一昔前までお茶の間の主役だった地上波テレビのコンテンツは、時代を経てどのように変化してきたのでしょうか。過去の番組表からの調査をもとに、テレビコンテンツの変化を発表します。

2. テレビCM 広告費の減少

大企業による寡占状態にあったテレビCMは、年々変化しつつあります。テレビの広告はなぜ変化したのか、マスメディアとしての役割にどう影響を及ぼしているのか、近年成長を遂げている運用型テレビCMの観点も踏まえて発表します。

3. 各種プラットフォーム（放送類似サービス）の成長

Netflix や YouTube と比較してテレビに触れる機会が目に見えて減少している今日、テレビの必要性と優位性は一見低下しているように見えますが、その点を検証します。

【テーマ設定理由】

様々なメディアの登場により、テレビの持つ役割は変化しています。メディアに興味を持つゼミ生が多い中で、最も影響力の大きい媒体であるテレビに注目しました。

【発表への意気込み】

政経の元祖メディアゼミとして、ゼミ生全員で頑張ります！

【発表の見どころ】

若者を中心にテレビ離れが叫ばれている中で、メディアゼミとして時代に適応したこの媒体の在り方を提示します！

【フリースペース】

毎週月曜3・4限目に男子7人、女子7人の計14名で活動しています。

優しい竹下先生と、明るいゼミ生たちが揃ってとても楽しいゼミです！！



井田 正道 ゼミ 研究テーマ 投票率の計量分析

【発表タイトル】

投票率の実証分析～合理的選択理論との関連～

【発表内容】

人はなぜ投票（棄権）するのかについて、合理的選択理論に基づいて検討を加えます。材料として、2019年と2022年の参議院選挙の都道府県別投票率データを用います。問題意識としては、各選挙区の接戦度の変化が、投票率の変化に影響を及ぼしたかどうかについて、計量分析を用いて検討しました。

【テーマ設定理由】

合理的選択理論は経済学のみならず政治学にも影響を与えている理論です。ただ、合理的選択理論は仮説の提示を主としており、検証は計量政治学の分野から行う必要があります。そこで、今回は投票率に関してテーマを設定しました。

【発表への意気込み】

事前知識のない方にもわかりやすくお伝えできるように発表したいと思います。

【発表の見どころ】

図やグラフを見やすいように工夫しました。

【フリースペース】

年間予定表

4月	ゼミスタート
7月	共同論文執筆開始
8月	合宿・コンパ
9月	ゼミナール発表会・政経セミナー準備
10月	ゼミナール発表会
11月	ゼミOB・OG会 ゼミ試験

計量政治学に興味ある方も、そうではない方も是非教室に来てください!!
ゼミ生一同お待ちしております!!



【発表タイトル】

沖縄県における観光資源の実態について

【発表内容】

沖縄観光の概略、魅力、問題点やその解決策についての意見案

【テーマ設定理由】

沖縄県という場所が特有な文化や豊富な自然環境が存在しており、観光資源としてとても価値のある場所である。一方でそれと同時に様々な問題点も存在しているのではないかと仮定したためその観光資源の実態を調査しようと考えたからである。

【発表への意気込み】

精一杯頑張ります！

【発表の見どころ】

普段過ごしているだけでは知ることのできない沖縄の魅力を知ることができます。

【フリースペース】

斎場御嶽 これはなんて読むでしょうか？

ラフティー これってなんでしょう？

沖縄そばとソーキそば 違いは何でしょう？

後藤ゼミ 研究テーマ スポーツ文化論

【発表タイトル】

SPJ 事前発表

【発表内容】

10/28. 29 に行われるスポーツ政策提言コンペ(SPJ)に向けた事前発表。

2 グループがパワーポイントを用いて発表の練習。

【テーマ設定理由】

後藤ゼミは毎年、SPJに参加しており、どのような取り組みをしているか知ってもらうため。

【発表への意気込み】

提言内容がしっかり伝わるように頑張ります！

【発表の見どころ】

2 グループそれぞれ異なるテーマで発表します。

1 グループ目のテーマは「スポーツを通じたオーバーツーリズムの緩和と観光振興による地域活性化～魅力沢山・白山・分散プラン～」です。今年の夏のゼミ合宿では、この発表のフィールドワークもかねて石川県の金沢市と白山市に行きました。

2 つ目のテーマは「認知症を予防しよう！～家族で共有 BRAIN HEALTH アプリ～」です。認知症予防のためのスポーツ政策に目を向け、実際に 2 つの介護施設に訪問調査を行いました。

これらのフィールドワークをいかした発表を行うため、後藤ゼミに少しでも興味がある人はぜひお越しください。待っています！

【フリースペース】



【発表タイトル】

風刺はどこまで許されるのか—表現の自由とフランス—

【発表内容】

2015年にフランスでシャルリ・エブド事件という風刺新聞社が襲撃されるという事件が起きた。まずは事件の詳細や背景を説明し、その後はこの事件の論点となった「表現の自由」について過去の歴史に遡り、どのように形を変えてきたのか、その限界はどこなのかを検証する。

【テーマ設定理由】

シャルリ・エブド事件によってフランス特有の風刺文化や表現の自由に対する認識について知り、これらはフランスにおいて重要な立ち位置であることが分かった。それと同時に、なぜこれほど重要視されているのか気になったためこのようなテーマにした。

【発表への意気込み】

難しい内容と思われるかもしれないが、分かり易く丁寧に発表していく。

【発表の見どころ】

フランス革命前から現在に至るまで表現の自由がどのように規制されてきたのか、またそれに関する法律設立の背景など、歴史的に丁寧にみていくところに注目していただきたい。

【フリースペース】

沢山の方々に聴いてほしいと思っています！是非お気軽にお越しください。

【発表タイトル】

日本の政治・経済分野におけるジェンダー・ギャップ指数低迷の背景

【発表内容】

世界経済フォーラムが毎年公表する「The Global Gender Gap Report」の中で発表される「ジェンダー・ギャップ指数（各国における男女格差を測る指数のこと）」をもとに、日本の政治・経済分野における女性活躍の現状を分析したうえで、各分野の女性活躍推進を阻む日本社会の本質について報告します。

【テーマ設定理由】

「スポーツ and/or ジェンダー」を研究テーマとして掲げるゼミナール生の一員として、ジェンダー平等や女性活躍推進が叫ばれる昨今において、先進国の中でも特にジェンダー・ギャップ指数の低迷が続く日本の現状に問題意識を抱いたからです。

【発表への意気込み】

高峰ゼミ 15 期生では「スポーツ」と「ジェンダー」の二つにテーマを分け、春学期から共同研究を行ってきました。私たちジェンダー班 6 人の日頃の研究成果を、今回のゼミナール発表会でお見せできればと思っています。

【発表の見どころ】

高峰先生にたくさんのアドバイスを頂きながら、数多くのデータや文献をもとに導き出した私たちがの考えを聞いていただくと嬉しいです。その上で、皆さんにとって日本の女性活躍の現状と今後について今一度深く考える機会になれば幸いです。

【フリースペース】

G7 と日本のジェンダー・ギャップ指数の比較

	政治	経済	総合
アメリカ	0.248(63)	0.78(21)	0.748(43)
イギリス	0.572(19)	0.731(43)	0.792(15)
イタリア	0.241(64)	0.618(104)	0.705(79)
カナダ	0.374(33)	0.74(36)	0.770(30)
ドイツ	0.634(5)	0.665(88)	0.815(6)
フランス	0.338(39)	0.717(51)	0.756(40)
日本	0.057(138)	0.561(123)	0.647(125)

日本の政治・経済分野における GGI 推移(2006～2023 年)

年	調査 国数	政治		経済		全体	
		指数	順位	指数	順位	指数	順位
2023	146	0.057	138	0.561	123	0.647	125
2022	146	0.061	139	0.564	121	0.650	116
2021	156	0.061	147	0.604	117	0.656	120
2020	153	0.049	144	0.598	115	0.652	121
2019							
2018	149	0.081	125	0.595	117	0.662	110
2017	144	0.078	123	0.580	114	0.657	114
2016	144	0.103	103	0.569	118	0.660	111
2015	145	0.103	104	0.611	106	0.670	101
2014	142	0.058	129	0.618	102	0.658	104
2013	136	0.060	118	0.584	104	0.650	105
2012	135	0.070	110	0.576	102	0.653	101
2011	135	0.072	101	0.567	100	0.651	98
2010	134	0.072	101	0.572	101	0.652	94
2009	134	0.065	110	0.550	108	0.645	101
2008	130	0.065	107	0.544	102	0.643	98
2007	128	0.067	94	0.549	97	0.645	91
2006	115	0.067	83	0.545	83	0.645	80

高峰ゼミ 14・15 期 ゼミ合宿(清里セミナーハウス)



【発表タイトル】

開発と植民地主義

【発表内容】

プレゼンテーション

我々が何の疑いも持つことのない「開発」から「植民地主義」を分析していきます。

【テーマ設定理由】

当然だと思っている事に潜む暴力、搾取。あるいは資本主義への疑問。

【発表への意気込み】

発表という形ではありますが、皆さんと共に考えることができればと思います。

【発表の見どころ】

我々が今生きる世界について、「あたりまえ」に揺さぶりをかけ、人類学的な視点から考えていきます。

【フリースペース】

優雅にして人道主義的かつ篤信家の二十世紀のブルジョワに教えてやるのだ。彼の中には、まだ自らの本性に気づいていないヒトラーがいる。彼にはヒトラーが宿っている。ヒトラーは彼の守護霊である。彼がヒトラーを罵倒するのは筋が通らない。結局のところ、彼が赦さないのは、ヒトラーの犯した罪自体、つまり人間に対する罪、人間に対する辱めそれ自体ではなく、白人に対する罪、白人に対する辱めなのであり、それまでアルジェリアのアラブ人、インドの苦力、アフリカのニグロにしか使われなかった植民地主義的やり方をヨーロッパに適用したことなのである。

エメ・セゼール

【発表タイトル】

環境経済学研究の3つのグループの研究成果

【発表内容】

3チームがそれぞれ衣類廃棄、リジェネラティブ農業、太陽光発電をテーマに研究成果のプレゼンテーションを行います。

【テーマ設定理由】

廃棄物、脱炭素、再生可能エネルギーという3つの観点からゼミ生の興味がある題材を選び、現状を調べる中で生じた疑問からテーマを設定しました。

【発表への意気込み】

私たちは4月から研究テーマについて理解を深め、研究で得た知見を発表する場となる12月に東京ビックサイトで行われる環境系展示会エコプロダクツ展に向けて一生懸命準備しています。今回の発表がよい経験になるよう頑張ります。

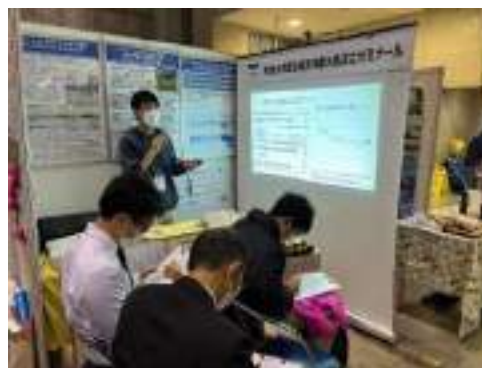
【発表の見どころ】

私たちは企業への質問状の送付や専門家へのヒアリング調査を行い、最新のデータを集めた上で環境問題に対する解決策や政策提言を導いています。

【フリースペース】

下記の3つのグループ研究から最も発表会にふさわしいテーマの研究成果を2つ選んでプレゼンテーションします。

- ① アパレル事業者の衣類再資源化の普及と促進のために
- ② 太陽光発電設備が果たす電力価格変動リスクの回避効果
- ③ 脱炭素型農業への投資促進の提案～グリーンボンド・J-クレジット活用に着目して～



写真：去年のエコプロダクツ展の様子

【発表タイトル】

押し活消費～消費者・企業側双方の視点からの分析～

【発表内容】

- 応援消費～ファンベース～
- 押し活とは
- なぜ通常の消費から応援消費になるのか～消費者心理～
- 企業目線での押し活～顧客の定着化・新規顧客獲得～

【テーマ設定理由】

ゼミナールのテーマが消費経済論であり、押し活が私たちにとって身近なテーマであるから

【発表への意気込み】

夏休みの勉強会の成果を出せるように頑張ります！

【発表の見どころ】

通常消費と応援消費の比較

【フリースペース】

駿河台、和泉キャンパスで経済学史の授業を担当されている高橋信勝先生をはじめ、男子8人、女子7人の16人で活動しております。穏やかで優しく見守って下さる先生に支えて頂き、今回のゼミナール発表会を迎えることができています。

通常の授業内でのプレゼンテーションでは複数の班に分かれての活動ですが、今回はメンバー全員で1つのプレゼンテーションを作るという点において、連携が難しかったり、みんなの意見が揃わなかったりと思い通りに進まない共同作業の大変さを改めて実感することになりました。しかし今まで以上にみんなが意見を交換することができていると思っており、今後の活動が益々盛り上がっていきけると感じます。

今回は普段の私たちの様子と違い1人1人が少しの緊張感を持って発表に臨むことになると思いますが、一生懸命頑張ります。



【発表タイトル】

全国学力・学習状況調査からみた ICT と教育の関係
日本の将来を担う外国人の教育の在り方

【発表内容】

12月に開催される日本政策学生会議 ISFJ で提出する論文についての発表を行います。
(上記タイトルのどちらか一方ないし両方を行う予定です。)

【テーマ設定理由】

1 全国学力・学習状況調査からみた ICT と教育の関係

ICT教育が推進されていく中で、ICT教育が現代の小学生に与える影響に関心を持ち、今後どのように ICT 教育を進化させていくかについて探究したいと考えたからです。

2 日本の将来を担う外国人の教育の在り方

今日、日本では慢性的な労働力不足の解決策として外国人労働力が重要になってきています。それに伴い、将来的に日本を担う可能性のある外国人児童生徒の教育にも力を入れるべきであると考えたからです。

【発表への意気込み】

普段のゼミ活動で研究した成果を皆さんにお伝えできるように頑張ります！

【発表の見どころ】

日本政策学生会議の政策フォーラムではどのような発表を行うのか、ありのままをお伝えします。

【フリースペース】

ゼミの雰囲気を紹介します！

詳しい情報は Instagram, X @kato_meiji_2023 をご覧ください！！



(左上) ゼミ合宿での昼食

(右上) タイの留学生2人と浅草散歩

(左下) 花火を嗜む加藤教授

(右下) 留学に行くゼミ生を送る会

【発表タイトル】

地域調査報告序論

【発表内容】

ゼミを経済班、地域行政班、グローバル班の3つに分けて長野県高山村というフィールドで各班がそれぞれぶどう産業、地域交通、観光の観点から高山村の課題と対応策、さらには地域発展のための解決法について調査・研究を行いました。各班の調査と研究を発表します。

【テーマ設定理由】

高齢化、過疎化、観光客の減少など地域のさまざまな危機に対する地域の対応策や今後の発展に関して研究するためにこのテーマを設定しました。

【発表への意気込み】

9月中旬にフィールドワークのための合宿を行いました。事前調査に基づいた三日間の成果を余すことなく発表します。

【発表の見どころ】

各班で異なる観点からそれぞれの調査を行いました。調査の手法やアプローチに注目していただきたいです。

【フリースペース】

学科関係なく 13 人で元気に活動しています！興味のある方ぜひお越しください！お待ちしております！！

【Instagram】

@hiromat_zemi2023

森下正 ゼミ 研究テーマ 中小企業論

【発表タイトル】

中小企業や地域産業に関する卒論の中間報告

【発表内容】

パワーポイントによる発表

(日本の中小企業が直面している課題に対する解決策の提示)

【テーマ設定理由】

ゼミナールの研究テーマである中小企業やそれを取り巻く環境についての研究を知ってほしい。

【発表への意気込み】

私たちのゼミナールで行っている研究や学習内容について、わかりやすくお伝えできるように頑張ります！

【発表の見どころ】

中小企業の現在の状況や課題、これからの持続的発展についてなどがわかります。
4年の発表では、地域産業や事業承継について深掘していきます。

【フリースペース】

私たちのゼミナールでは中小企業へのヒアリング調査や様々な地域への視察調査などを行っており、企業の実態、現場の現実を直に体験できます。更に、学問的にも中小企業を学ぶことにより、中小企業や中小企業を取り巻く経済状況について、多面的に見ることができるようになります！



【発表タイトル】

主要都市における経済構造の分析

【発表内容】

産業連関分析を用いて東京、愛知、大阪、福岡の経済構造を分析する

【テーマ設定理由】

日本の主要都市の経済がどのようになっているかが興味を持ったため

【発表への意気込み】

主要都市の経済構造を解析し尽くします

【発表の見どころ】

エクセルによる分析

【フリースペース】

奥山雅之ゼミ 研究テーマ:地域産業、地域振興

【発表タイトル】

しまなみ海道開通に伴う周辺離島の変化に関する考察

【発表内容】

夏合宿で実地調査を行ったしまなみ海道から、広島県と愛媛県の離島統計などを基に、しまなみ海道（架橋）が各島に与えた様々な効果と影響を提示する。

【テーマ設定理由】

地域産業の研究において、離島の厳しい現状を学ぶ機会があった。

また、夏合宿で実際に離島航路を使い島で実地調査する機会があった。その経験から、しまなみ海道という橋梁が架かることによって離島航路に与える影響など島を交通の面や産業の面から解析しようと考えたから。

【発表への意気込み】

島という日本にとって身近な存在に、島特有なものから一地方都市としての問題まで様々な問題が現れており、それを明らかにしていく。

【発表の見どころ】

島という日本にとって身近なテーマから、地域産業論を学ぶ我々が様々な視座から島を解析していくか。新しいゼミ生もぜひ一緒に考えていきたい。

また、我々奥山ゼミ生は、様々なプロジェクトの中で、地域の方々に前に自分たちのプランを説明してきた。プレゼンの中身はもちろん、プレゼンの仕方も工夫したいと思っているので、ご覧いただきたい。

【フリースペース】



武田巧ゼミ 研究テーマ 応用マクロ・ミクロ経済学

【発表タイトル】

日本は最低賃金をさらに 300 円引き上げよ

【発表内容】

- ①ゼミ紹介
- ②模擬ディベート
- ③ゼミ試験のご案内

【テーマ設定理由】

私は飲食店で働いています。

皆さんの中にもアルバイトをしている方や過去に経験がある方が多いと思いますが、もし最低賃金 300 円の引き上げが実施されたらもちろん嬉しいですよね？

しかし、最低賃金の引き上げは必ずしも経済に好影響をもたらすとは限りません。最低賃金という身近な話題を通じて、ディベートに興味をもっていただきたいです！

【発表への意気込み】

武田ゼミの活動で身につけた論理的思考力・プレゼン力などを基にディベートを行い、皆さんにディベートの楽しさ・身につく力をお伝えします！！

【発表の見どころ】

実際と同じ流れでディベートを行います。

皆さんもどちらのチームの主張が良かったか考えてみてください！

【フリースペース】

2023 年 6 月 ゼミディズニー



「グローバル化が進む中で、日本経済をいかに元気にするか」

このテーマについて金融・財政・環境・雇用などの諸問題を、理論と政策を融合しながら、ディベートを通じて学んでいます。

ディベートは授業内 4 回、春・夏合宿 1 回ずつ計 6 回行います。皆さんの“ちから”が「グ〜っと」伸びるゼミです！是非ご参加ください！！



2023 年 9 月 夏合宿@清里

SNS



Instagram: 上

LINE: 下

X: @takedazemi2023

HP:

<https://www.isc.meiji.ac.jp/~tksemi/hp/index.html>

<https://www.isc.meiji.ac.jp/~tksemi/hp/index.html>

【発表タイトル】

多文化共生推進 ～多国籍シェアハウスで豊島区を盛り上げよう～

【発表内容】

多文化共生推進都市である豊島区に注目し、そこにおける課題とそれを解決するための政策提言を発表します。

【テーマ設定理由】

現在、日本では外国人居住者が急速に増加しています。外国人労働者や外国人留学生の受け入れは今後も進み、日本社会はさらにグローバル化が進むことが予想されます。そうした背景の中で、多文化共生が今後の日本においてより重要性を増すと考え、このテーマを選択しました。

【発表への意気込み】

現地調査やヒヤリング調査を行い、時間をかけて研究を進めてきました。発表資料も力をいれて制作したので、どうぞご期待ください！

【発表の見どころ】

多文化共生推進のためのユニークな政策提言が見どころです。多文化共生や地方創生に関する知識がない方でも、十分理解できる内容となっています！

【フリースペース】

齋藤ゼミの研究テーマは「経済政策」です。金融や IT、地方創生など様々な観点から経済を捉え、日本経済に対する理解を深めます！

ゼミについての詳細な情報は、Instagram (@saito_zeminer2023) で発信中！



【発表タイトル】

フィリピンにおける教育とIT-BPO産業

【発表内容】

教育：貧困対策に教育が有意であることを示す。

産業：IT-BPO 産業のキャッチアップによるフィリピンの持続的成長について検討。

【テーマ設定理由】

教育：セブのスラムを調査し、教育の重要性を再認識したから。

産業：フィリピンで活発な IT-BPO 産業であるが、付加価値を付けにくいというボトルネックを抱えており、持続的な成長のために必要なことを検討する必要があるため。

【発表への意気込み】

明確かつ魅力的な発表を行い、本研究の重要性と意義を伝えたいと考えています！

また、参加者の皆様からのフィードバックや意見を基に、私たちの研究をより洗礼させ、発展させる努力を惜しまずに行います！

【発表の見どころ】

データ手法として、回帰分析を用いて検証を行うことや、現地調査を行い具体的なケーススタディを提供したりする、独自のアプローチに注目してください！

【フリースペース】

<企業訪問>



【発表タイトル】

DX の現在地

【発表内容】

DX やそれに関わる分野であるフィンテックについての沿革や近年行われている取り組みについてのまとめと課題、そして今後の展望について

【テーマ設定理由】

普段のゼミでは「格差」について学んでいるが、それを学ぶ過程でDX等に興味を持つ者が現れたため、初学者の視点で知識や背景を学び、今後のゼミでの研究や社会で活かしていきたいと考えたため。

【発表への意気込み】

DX について少しでも知識を得たりや関心を持ってもらいたいに加え、平口ゼミで行うことの一部をこの発表から汲み取ってもらえるように発表します。

【発表の見どころ】

個々人の興味関心に合わせた研究内容はもちろん、現実で取り上げられている課題や問題点に向き合いながら発表を構築した点です。

【フリースペース】

平口ゼミでは、国内外の経済成長に対して様々な角度からその動向や要因などの分析・考察を行う経済成長論を学んでいます。理論やその具体例を考えると同時に、持続可能な経済成長に関係する諸問題について議論を重ねています。卒業論文は経済に関係すれば自由に自分の興味のあるテーマを研究できます。

教科書を通じての学習はもちろん、新聞記事を使った発表や英語で書かれた専門書を通しての学習も行っています。

ゼミナール発表会での研究発表の他に、別のテーマで政経セミナーにて論文を投稿する予定なので、そちらの方にも目を通して頂けると嬉しいです。

【発表タイトル】

沖縄県の経済の自立

【発表内容】

日本の中でも特異な環境である沖縄県の経済について、その自立に向けて財政と産業の2つの観点からアプローチをし、考察をしていきます。

【テーマ設定理由】

沖縄県は、子どもの貧困・米軍基地・第三次産業の割合の異質さなど、他の都道府県に比べて様々な特殊事情を抱えているため。

【発表への意気込み】

これまで倉地ゼミで学習してきたことを発揮できるよう、全員で頑張ります！

【発表の見どころ】

現地実際に足を運び、4つの班に分かれてヒアリング調査を行いました。それぞれの班の視点から沖縄経済の抱える現状を分析した点が見どころです。

【フリースペース】

倉地ゼミについて…

財政学の視点から、年金や社会保障、税金といった様々な社会問題について幅広く考えることができます。

個性豊かな先生とゼミ生達で、学びと遊びのメリハリをつけて充実した活動を行っています！みんな倉地ゼミのことが大好きです(^ ^)♡

倉地ゼミの情報は以下で発信中↓↓↓

Instagram: @kurachisemi5

X(旧 Twitter): @kurachisemi



【発表タイトル】

未来のお金の在り方とは？ - デジタル通貨の基礎理解 -

【発表内容】

ステーブルコインや CBDC など、巷で噂になっているホットな金融テーマをわかりやすく紹介します。Fintech の一分野であるデジタル通貨についての理解を深められる発表になっていると思います！

【テーマ設定理由】

Fintech の中でも特に今注目されているデジタル通貨について知ってもらうことで、Fintech への興味を持ってほしいと考えています。

【発表への意気込み】

私たちにとっても少し難しいと感じるトピックではありますが、楽しんで理解してもらえるように頑張ります！

【発表の見どころ】

現在から未来のデジタル通貨まで、わかりやすく簡潔にまとめたパワポです。

【フリースペース】

仲が良く、みんな Fintech が大好きなゼミです！是非 Fintech への興味を持つとともに、小早川ゼミの雰囲気も感じてもらいたいです！



勝ゼミ 研究テーマ 国際金融論

【発表タイトル】

株主にとって望ましい株主還元政策

【発表内容】

「①株式会社のしくみ・②株主還元とは・③経営者と株主の関係」
の3つについて、徐々にステップアップしながらお伝えします！

【テーマ設定理由】

私たちのゼミでは「証券ゼミナール大会」に参加しており、いくつかのテーマの中から、興味のあるテーマを選んで他大学の学生と討論大会を行います。今回はそのテーマの一つをご紹介します。

【発表への意気込み】

事前知識が無い方を前提に、分かりやすい発表を心がけて用意しています！
堅苦しい雰囲気での発表ではないので、少しでも気になる方はぜひ来ててください！

【発表の見どころ】

株式会社や株について皆さんと一緒に考えていきます。
発表の後半では、普段のゼミ活動についても紹介します！

【フリースペース】

私たちは木曜日の3・4限にゼミを行っており、世界経済や金融理論を学び、現状分析や経済動向予測をしています！
また、金融政策、ESG投資、企業金融など様々なテーマで研究を行っています
今回の発表を聞いて勝ゼミに興味を持ってくれたらうれしいです！



【発表タイトル】

杜の都・仙台市発展の歴史的背景—経済（産業）、住環境、文化・伝統—

【発表内容】

人々が仙台に引き寄せられるその要因・背景を、「発展する経済（産業）」、「良好な住環境」、「豊かな文化・伝統」、という三つの側面から考察する。

【テーマ設定理由】

東北地方において最大の人口を抱え、また今後も人口増加が見込まれている杜の都・仙台に関心があったため。

【発表への意気込み】

本やネットで情報を集めるだけでなく夏季休暇中に実際に仙台に行き実踏調査までして発表を作成しました！

【発表の見どころ】

実踏調査で撮った写真。あといかにテンポよく発表できるか。

【フリースペース】

ぜひ見に来てください(´;ω;`)

浅井澄子 ゼミ 研究テーマ フード
デリバリーサービスの課題と戦略

【発表タイトル】

フードデリバリーサービスの遍歴と今後

【発表内容】

日本市場におけるフードデリバリーサービスの現状を考察し、課題をゼミナール独自で実施したアンケートと合わせて解決策を提示する。

【テーマ設定理由】

コロナウイルス拡大によって出前館やUber Eats の売り上げは拡大した。売り上げ拡大はそのまま続くのか、縮小するのか気になったため。

【発表への意気込み】

頑張ります！

【発表の見どころ】

ゼミ独自のアンケートを実施してフードデリバリーサービスが抱えている問題を考察している点。

【フリースペース】



【発表タイトル】

「自分らしく働く」とは何か？

【発表内容】

労働者協同組合(ワーカーズコープ)の事業所の一つである「みなと子育て応援プラザ Pokke」で実施したヒアリング調査を紹介します。そのうえで、ワーカーズが目指す雇われない働き方の実態を明らかにし、私たちが将来、仕事にやりがいを感じられる自分らしい働き方について報告します。また、ゼミの日常の紹介も行います！

【テーマ設定理由】

私たちは現在、身近な労働であるアルバイトを通して、「上からの指示通りに動く」「お金以外に働く意義を感じない」という経験をしています。その経験から、将来の働き方もこのまま自分の意見が言えず、やりがいを感じられない制約されたものになるのではないかという不安を抱えています。そこで、雇われない働き方を目指すワーカーズコープではどのような働き方を追求しているのかについて学びたいと考えました。

【発表への意気込み】

大高ゼミの研究の集大成として、ゼミ生が全力で発表をお届けします！この発表を通して、みなさんも自分らしい働き方を模索するきっかけになるのではないのでしょうか。

【発表の見どころ】

多様な働き方が存在する現代だからこそ、注目されている働き方である協同労働についての魅力をお伝えします！

【フリースペース】

大高ゼミは、メリハリを大切に日々楽しく活動しています！常に聞くことを意識し活動しているからこそ、ゼミ生と大高先生はフラットで固い信頼の絆を紡ぎだしています。研究内容と共に、大高ゼミの魅力もたっぷりお伝えします！

【発表タイトル】

経済思想から「自然・環境・生」の問題を考える

【発表内容】

現代経済を経済思想の観点から捉え直し、ジョン・ラスキンの思想を踏まえて「自然・環境・生」の問題を考察します。

【テーマ設定理由】

桑田学著『人新世の経済思想史』をゼミで講読したことがきっかけとなって、現代の環境問題の深刻化に対して経済思想の立場からアプローチすることを考えました。経済学が「自然を支える」存在となることで、現代社会をより豊かに生き抜くための新しい道を探ります。

【発表への意気込み】

ゼミ生5人で少しでも良い発表を作り上げるために議論を重ねてきました。丁寧で、分かりやすい発表となっているので、ぜひ聞きに来てください。

【発表の見どころ】

身近な環境問題と経済思想がどのように繋がっているのかをわかりやすくまとめているところです。難解な思想を面白く、深く理解してもらえるように工夫しています。主流派の経済学だけに捉われない、多様な経済思想の面白さを詰め込んでいます。

【フリースペース】

奥山誠ゼミ集合写真（8・9期生）



合宿にて勉強会を行っている様子



【発表タイトル】

沖縄県離島の観光事業による財源確保の問題点について～渡嘉敷島を例に～

【発表内容】

自主財源の確保が喫緊の問題になっている沖縄県の離島。海を利用したマリンレジャー等の観光事業が盛り上がるのが必須である。そこで、オフシーズンやオーバーツーリズム等の観光事業の問題点を解決するためにどうすべきかを発表する。

【テーマ設定理由】

沖縄県本島や離島である石垣島は観光業が盛んなイメージがあり、実際観光客も多いが、沖縄には160もの離島がある。その中で、渡嘉敷島に合宿で行くことが決まり、現地の人々の声を聞く機会が出来たため、問題点と考えられる解決策を発表することを決めた。

【発表への意気込み】

観光事業を調査する班員全員で、調査内容を考え、実際に自分たちの足で現地調査をしたため、生の声を調査内容をまとめ、誰が聞いても分かりやすく発表することを心がける。

【発表の見どころ】

渡嘉敷村の村役場の職員さんに問題点について質問形式で対話する機会を頂いたため、インターネットで調べても見つからない新たな発見も多かった。その内容も発表に組み込まれているため、誰が聞いても新しい知見を得られる発表になっている点が見どころである。

【フリースペース】

小野島ゼミでは沖縄にゼミ合宿で行く際、沖縄の基地問題と観光事業についての二つのテーマの班に分かれて現地調査に向かった。渡嘉敷村役場に調査に行った他、沖縄国際大学の教授に基地問題についての講義をしてもらったことにより各グループの研究内容がより深まった。このように、小野島ゼミではグループ活動を通してお互いに高め合いながら活動しており、ゼミ全体としても仲良く、楽しく活動している。

【発表タイトル】

アメリカにおける人的資本投資

【発表内容】

アメリカ経済の長期的な成長に必要な不可欠である人的資本投資に力を入れるバイデン政権の取り組みを、労働・教育・人種の3つの観点から分析する。

【テーマ設定理由】

- ① 前期に『米国経済白書 2022』を用いてアメリカが抱える問題を包括的に学習する中で、特に労働・教育・人種の3つに興味を持つゼミ生が多かったこと
- ② 労働・教育・人種の3つ全てと密接な関わりがあり、幅広い視点で考察を行うことができるということ
- ③ 大学生である我々にとって最も身近でイメージしやすいということ

以上の3点から上記のテーマを設定致しました。

【発表への意気込み】

アメリカ経済に関心がある学生とそうでない学生に関わらず、我々の発表を通して、参加した学生にアメリカ経済をより身近に感じてもらい、一人でも多くの学生に下斗米ゼミでアメリカ経済を学びたいと思ってもらえるように精一杯頑張ります！

【発表の見どころ】

多民族国家であるアメリカに根付く人種やエスニシティによる差別を是正し、多くの人々に人的資本開発に重要な教育へのアクセスを与え、労働市場において人的資本が有効に活用されるようにするためにバイデン政権がどのようなアプローチを取ったかに注目です！

【フリースペース】

世界のグローバル化が進展する現代において、グローバル経済のトップを走るアメリカ経済に関して理解を深めることは非常に重要なことだと思います！
少しでも興味を持った方は是非下斗米ゼミの発表会に参加してみてください！



【発表タイトル】

米中関係と TPP、RCEP

【発表内容】

国際社会の中で、高い影響力を持つアメリカ、中国の2か国に注目し、彼らに関する経済連携協定である TPP、RCEP を取り上げ、その国際経済への影響や、2国の EPA、FTA に対する姿勢について考察する。

【テーマ設定理由】

この論文のテーマを選択した理由は、アメリカと中国が世界経済において主要な役割を果たしているためです。また、両国の経済連携協定である TPP と RCEP が、世界の貿易体系や国際関係にどのように寄与しているのか、また米中の対立がどのように影響しているのかを調査・分析することで、現代の国際社会を深く理解できると考えています。

【発表への意気込み】

アメリカ、中国の経済政策や国際貿易の動向、そしてこれらが国際社会に与える影響を説明し、より国際経済を理解していただけるような発表にしたいです。

【発表の見どころ】

本発表の見どころは、米国と中国の国際経済に対するアプローチを比較する点にあります。また、TPP と RCEP が世界にどのような影響を与えているかということにも注目してください。

【フリースペース】

【発表タイトル】

政経セミナーに向けた研究報告

【発表内容】

- A 班 伝建地区の認定は地価と観光客数に影響を与えるか
- B 班 浦添てだこまつりの経済波及効果
- C 班 健康意識と社交度が高い人はサウナに行くのか

【テーマ設定理由】

データ分析を用いて、各班が興味のあるテーマを研究しました。

【発表への意気込み】

ゼミ活動をスタートさせてから初めての大きな研究なので、頑張ります！

【発表の見どころ】

各班全員で協力し、春学期から学んできたデータ分析を実際に行いました。各班がそれぞれ違う分析手法を用いていることが見どころです！

【フリースペース】

<飯田ゼミの紹介>

経済の学びを、日本経済に実践することを目標に、経済理論とデータ分析の両方を学んでいます。

普段のゼミ活動では、班ごとに専門書を読み進め、その内容をプレゼンテーションで発表します。知識だけでなく資料作成にも力を入れているため、ゼミを通じてビジネスに応用できる思考の型を身に着けられます。

ゼミについての詳細な情報は、ホームページ(左)や Instagram(中央)、Twitter(右)などで発信しています！少しでも興味を持った方はぜひ覗いてみてください!!



【発表タイトル】

- ①ファミリーフレンドリー企業に勤めている男性は育休が取りやすいのか。
- ②人的資本投資を行っている人にはどのような傾向があるのか。

【発表内容】

- ①フレックス、テレワーク、時短勤務制度などファミリーフレンドリーな制度が、男性の育休取得に影響を与えるのかを分析したうえで、**男性の育休取得を妨げる要因**を検討する。最後には今後の展望や取るべき政策を示す。
- ②人的資本投資には学校教育と職業訓練がある。職業訓練には企業が行う企業内訓練と個人が行う自己啓発があり、企業内訓練には OJT と Off-JT がある。発表では、**OJT と Off-JT、自己啓発の促進要因**を分析する。

【テーマ設定理由】

- ①日本では男性の育休取得率が女性に比べて極めて低く、期間も短い現状がある。そこで、**育休取得の決定に影響を与える要因**を知りたいと考え、一般的に育休を取得しやすいイメージがあるファミリーフレンドリー企業に焦点を当てた。
- ②厚生労働省の調査によると、日本は他の先進国に比べて人的資本投資が低く、減少傾向にある。**日本の人的資本投資の促進要因を明らかにすることは重要である**と考え、上記テーマを設定した。

【発表への意気込み】

たくさん話し合っ各チーム 6 人で作り上げたものです。わかりやすく説明することを心がけ、原ゼミいいな！と書いていただけのように発表します！

【発表の見どころ】

- ①男性の育休取得を促進する要因を探することは、女性にとっても、日本経済全体にとってもプラスになります。これから社会に出てキャリアを築いていく皆さんにとって、**自分事として捉えられるテーマ**だと思います。
- ②統計データを活用して日本の人的資本投資を多角的に分析しています。興味のある分野や企業での取り組みを知り、**自身の成長の機会がどこにあるのか**を考えるきっかけとなる発表だと思います。

【フリースペース】



今回の発表では政経セミナー執筆に向けて、夏休み前から少しずつ準備してきた研究の成果を発表します。